

リハビリテーション科 通信No. 3

発行日：2022年10月1日
広報担当：沖・永井



四肢外傷センターOPEN！

この度、令和4年10月1日に四肢外傷センターが開設されました。
当センターでは、

- ①外傷専門医による診療体制の充実
- ②救急・総合診療センターとの連携で柔軟な受入体制を実現
- ③術前からの早期リハビリテーションなど、
チームワークで集中的に治療を行っていきます。

※より詳細な内容はホームページ「四肢外傷センター」を参照してください



寺浦 英俊
センター長



谷浦 圭
副センター長

リハビリテーションとは？

病気やケガにより生じてしまった不自由(障がい)に対して、元の生活に戻ること为目标に、障がいを持っていてもその人らしい生活ができるよう、チーム全体で支援していくことです。その中でも、四肢外傷センターで理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が主に携わっていく支援を今回は紹介します。

四肢外傷センターで

“理学療法士・作業療法士・言語聴覚士” は主にこんなことをしています！



手術前からのリハビリテーションの介入

- ①手術後、なるべく痛みの少ない動作が行えるように、痛みが強い手術後を想定した動作練習をします。
- ②入院中は筋力や体力が低下しやすいため、手術後に通常のリハビリに加え、自身で行えるトレーニング方法を個別に作成します。
- ③肺炎などの呼吸器合併症の予防として、呼吸方法の指導や痰を出しやすい方法を伝えます。

退院時リハビリテーション指導

- ①退院後も、筋力アップを目指すために、個別に自主トレーニングメニューを作成します。
- ②退院後も、ストレッチや柔軟など、ご自身の体を良い状態に保つ方法と、負担の少ない動作方法を伝えます。
- ③退院後、日常生活を送る中での注意点を、動作能力や自宅の環境、生活リズムなどに合わせ個別に作成します。

外来リハビリテーション

※現在はコロナウイルス感染拡大防止のため中止しています

- ①主に上肢の骨折やケガに対して、機能回復はもちろん、手の使い方や自主トレーニング指導も行います。
- ②外来で上肢専門にリハビリを行える施設は少ないため、入院からの継続や装具の作成なども行っています。